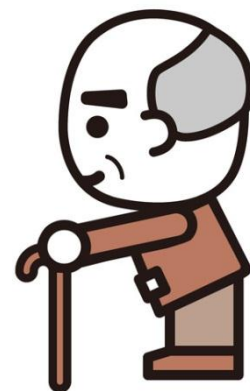


敬老の日に「火の用心」の贈り物。

[身近な防火・防災]プロジェクト

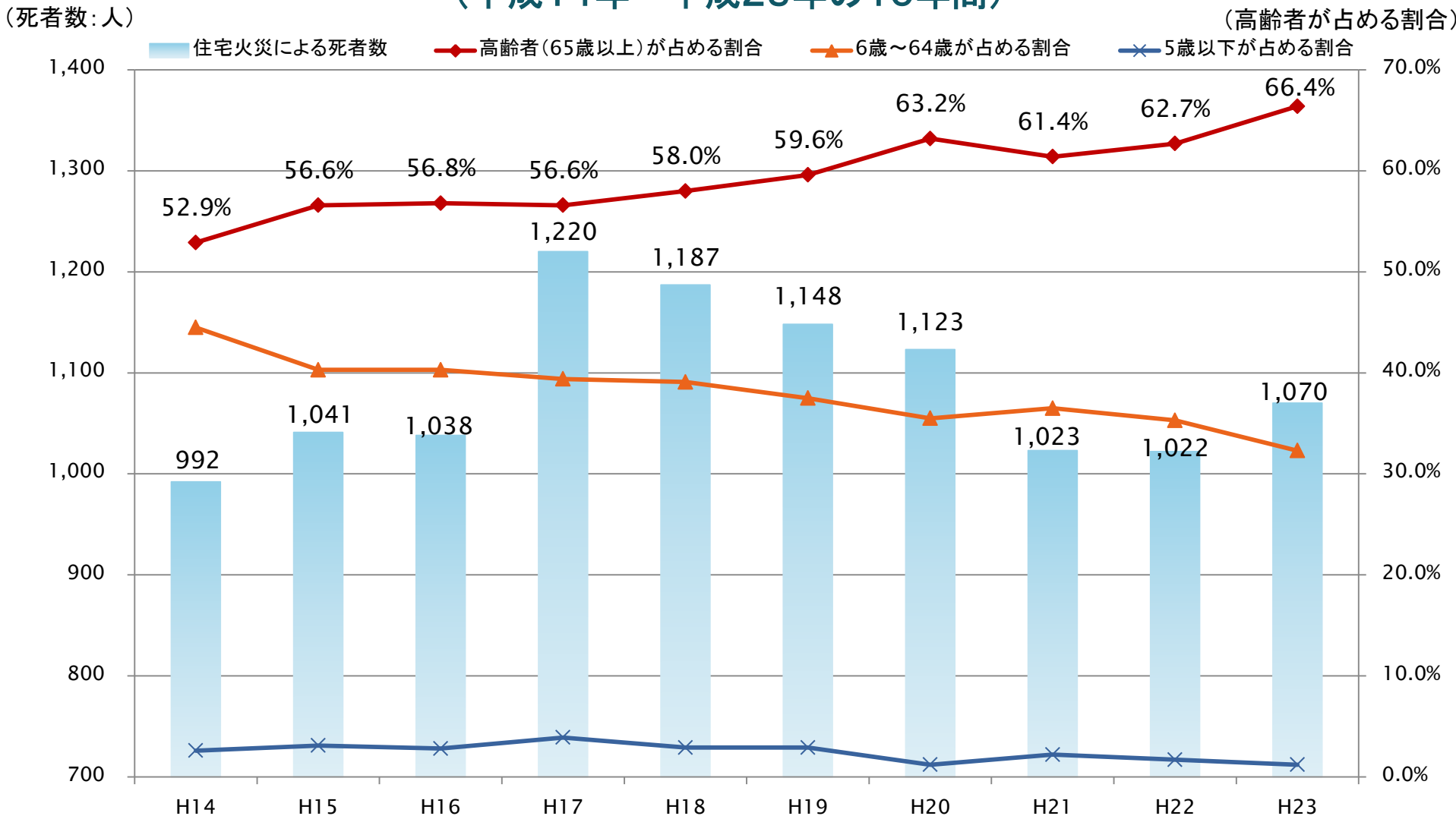
(住宅防火・防災キャンペーン)

消 防 庁



住宅火災による死者数の推移

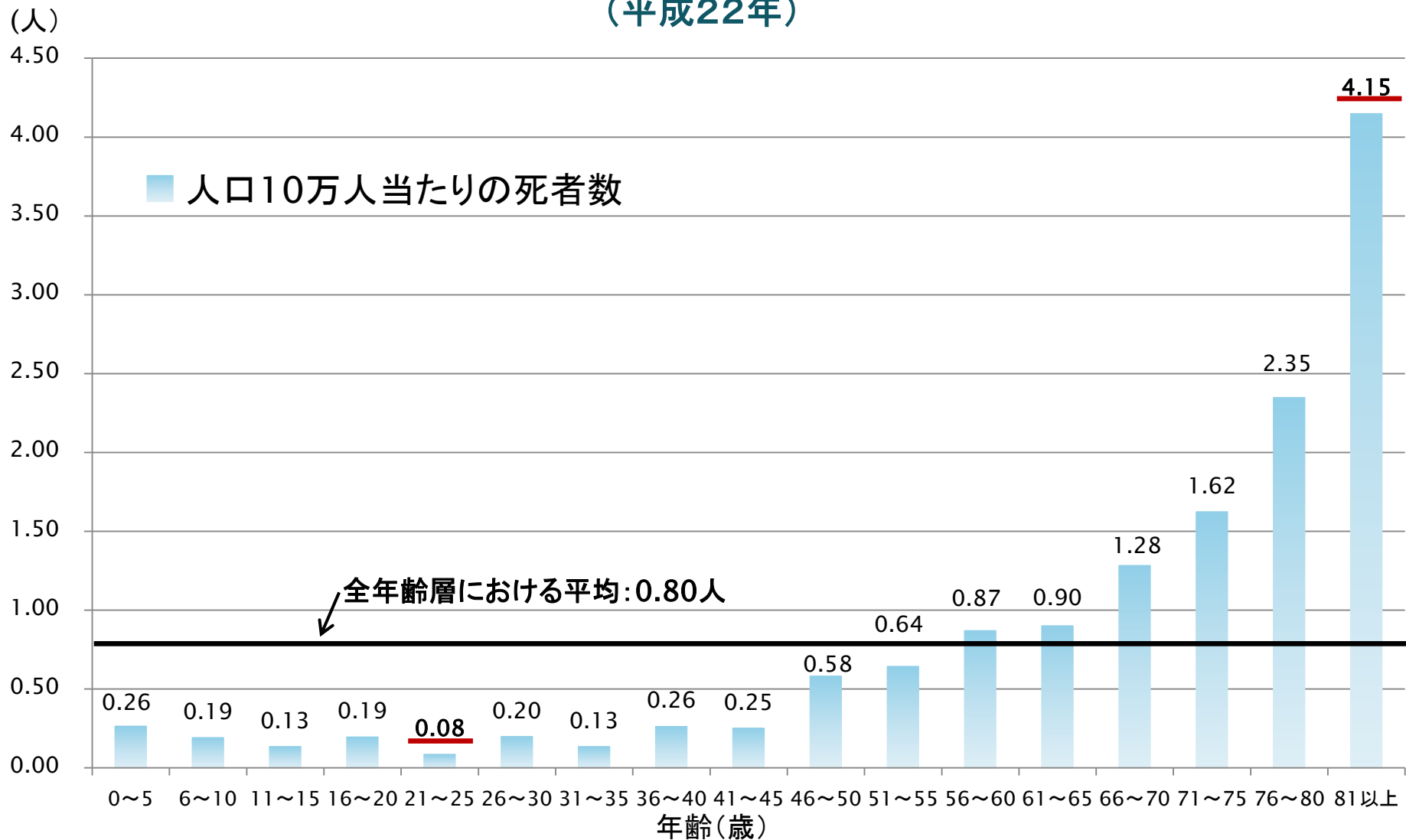
(平成14年～平成23年の10年間)



死者の約6割が65歳以上の高齢者 → 高齢化の進展を反映して増加傾向

住宅火災における年齢階層別死者発生状況

(平成22年)



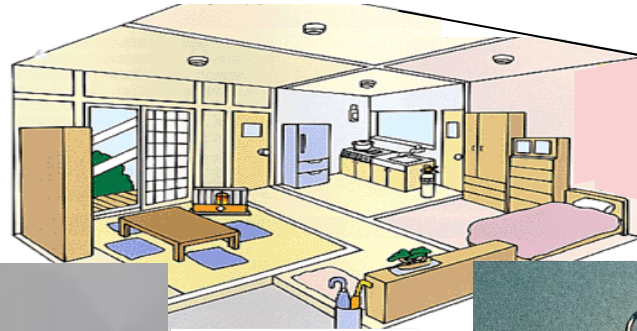
火災発生時の死亡リスクは「21~25歳」と「81歳以上」で50倍以上の差

高齢者を住宅火災から守るには？



早く知る！
住宅用火災警報器

早く消す！
住宅用消火器



火を広げない！
防災品



住宅防火・防災キャンペーンの実施内容

1. 高齢者を住宅火災から守るため、9月17日の敬老の日には、住宅用防災機器を高齢者に贈ることを全国に呼びかける「住宅防火・防災キャンペーン」を立ち上げ。
(住宅用防災機器とは、住宅用火災警報器、住宅用消火器、エアゾール式簡易消火具、防災品、家具の転倒防止器具などをいう。)
2. 敬老の日には、天井にあって点検しにくい住宅用火災警報器を高齢の両親のためにお子さんが点検したり、地震に備えて家具の転倒防止器具を設置するなど、高齢の両親を災害から守る取り組みを促していく。
3. このキャンペーンについて、9月に政府広報としてラジオなどでマスコミ報道を実施。
4. 毎年9月15日の「老人の日」から21日まで行われている厚生労働省の「老人の日・老人週間」キャンペーンとタイアップ。

問い合わせ先



消防庁予防課(児玉、根本)

TEL: 03-5253-7523

メール: m2.nemoto@soumu.go.jp